

ほんの
いばし
10

今回は ろく

6 (産業)

図書館の本は0から9の数字を
使って分類されているよ。くわ
しくは「シカクニト!」第1回
(ごちゃっと4号)を見てね。

「産業」のなかま

産業 (600)、農業 (610)、園芸 (620)
蚕糸業 (630)、畜産業・獣医学 (640)
林業 (650)、水産業 (660)、商業 (670)
運輸・交通 (680)、通信事業 (690)

人間のいろんな生産活動を知るなら「6:産業」に注目!

どの分類も、右上のような正式な区分けをみると、小ムズカシイ感じがする。

でも、手にとりやすい本もたくさんあるのだ。今回の「産業」でいうと、

- ご当地キャラ 60「産業」のうち、601「産業政策・行政」
- ペットの飼いかた (イヌやネコ) 64「畜産」のうち、645「家畜」
- ペットの飼いかた (魚) 66「水産業」のうち、666「養殖」
- ケータイの使いかた 69「通信事業」のうち、694「電気通信事業」

実はグッと身近でベンリな分類。宿題や調べ物に生かしてね!



ごちゃっと

ティーンズ広報紙 第18号

2011年11月1日発行

発行:名古屋市鶴舞中央図書館

Tel 052-741-9811

Fax 052-733-6337

<http://www.library.city.nagoya.jp/>

~読書でふくらむ子どもの夢~

☆ 図書館 x NHK コラボ企画!
潜入! 東桜中学校! ~NHK「中学生日記」の現場から~
☆ 映画・ドラマになった本



『ばっちゃん』(64)

小関左智/写真 井上夕香/文 小学館



ショップで売られる子犬を生むためだけに劣悪な環境で育てられた「繁殖犬」を救え!

★ おわびと訂正 ★

第17号(2011年9月発行)の表紙の英語表記が一部違っておりました。正しくは、「to change a piece ~」「I have a crush on」です。申し訳ありませんでした。おわびして訂正いたします。

次回は「7:芸術・スポーツ」をご紹介します!

— 編集後記 —

暑暑いと思ってたら急に涼しくなった! だまされてるんじゃないかと、完全に衣替えできない小心者です(弓) 暑試験前は先生と生徒の一人二役を演じ分けながら勉強しました...て、演劇経験に教えていい?(夜) 暑僕には中2の頃、文化祭でやった「ロミオとジュリエット」の劇で主役を演じたという輝かしい過去があります。ジュリエット役でしたが(mt) 暑およそひと月の間に北海道・東京・福岡へ行ってきました。行楽シーズンとはいえ、遊び過ぎ?(忍) 暑風はけっこう暑くて、夕方は冷える日が多いから、部活で走った後はしっかり汗ふこう(カゼ対策)(む) 暑体調不良で「中学生日記」の取材を欠席。参加したかった。健康って大事ね(生)

♪この印刷物は古紙パルプをふくむ再生紙を使用しています。♪

映画・ドラマに なった本

TVドラマや映画って、いいところで終わってしまっただけで続きが気になりますよね。あと、好きな芸能人が主役で出演していたりすると興味をもったり。そこで今回は、TVドラマや映画になった本の紹介をしたいと思います。原作ならではのよさもあるのでぜひ読んでみてください。



『神様のカルテ』 夏川草介／著 小学館

栗原一止（いちと）は、一般から救急まで扱うここ、本庄病院に勤める内科医。医師不足の中、町中から訪れる患者さんに、今日も寝不足フル稼働で対応しています。

ある日、大学病院の先生から一止の元にある誘いが舞い込みます。

「大学病院に勤務し、最先端の医療研究に打ち込んでみないかー？」

『武士道シックスティーン』 誉田哲也／著 文藝春秋

磯山香織・剣道一筋、インターハイ2位、心の師は宮本武蔵
甲本早苗・剣道歴約2年半。剣道は楽しくやるもの。

中学最後の夏の大会も終わり、ある市民大会に出場した香織は、無名の選手早苗に負けてしまいます。再戦に燃える香織は、何と早苗が入る高校に入学し、剣道部で2人は再会！

何かに打ち込んでいる人、打ち込もうとしている人におすすめの1冊です。



『ゲゲゲの女房』 武良布枝／著 実業之日本社

「ゲゲゲの鬼太郎」で有名な水木しげるさんと妻布枝さん、2人のこれまでの歩みが書かれた本。

人生は入り口で決まるんじゃなく、選んだ道でどう生きていくかだと、布枝さんは言っています。

ちなみに、ゲゲゲの鬼太郎は2007年と2008年に実写映画化もされました。



潜入！東桜中学校！

～NHK「中学生日記」の現場から～

私は今、“東桜中学校”の前に来ています。今年 50 年目を迎えたNHKの看板番組、あの！「中学生日記」の舞台になる架空の学校ですよ。今日は「見えない顔」(9月30日放送)収録に向けてリハーサル中ということですが…あ！今回出演する日記生7人がいます！行ってみましょう！

～~~~~～~~~~～~~~~～~~~~～~~~~～~~~~

先生の一言でざわつくこの感じ、まさにHR中ですね。セツはパイプ椅子と長机なのに、すっかり教室の雰囲気です。さすがの表現力ですが、みなさん演劇を始めて長いんですか？

「僕らは小学生のころから劇団にいます」

「全く初めてです」

おや、意外に初めての人も多い。では、「中学生日記」のオーディションを受けたきっかけは…

「友達と一緒に受けました」

「祖母が勝手に応募してたんです」

やっぱり、そういうことってあるんですね。

「兄の友人が出ていたので…」

「母が日記生でした」

えっ、身近にそんなに出演者が!?さ、さすがご当地番組…。でも、演劇初めての人は演技の勉強とか大変だったんじゃない？

「『中学生日記』を見たり、先に主役を務めた子に話を聞いたり…」

「いつも学校でやってることを再現すれば、なんとかやれますよ」

そういえば、「中学生日記」の脚本はみなさんの体験談から作られてるとか。はっ、ということは、好きな女の子の前で固まってしまうというあのシーンも実話だったり…

「違います(きっぱり)！」

ですよ～。で、そのシーンでは女性陣が笑っちゃって注意さ

れてましたが。

「笑っちゃいけない場面で笑いをこらえるのが一番大変なんです」

あ、それ、わかるかも。



本日のリハーサル予定。
出ずっぱりの人も！

「あと早起きも大変。スタジオに朝6:45集合の日があって、5時起きしたのはつらかった…」

早っ！無理！確かに、3分くらいのシーンを30分以上やり直したりしてだし、それくらいに集合しないと間に合わさそう。

「10分のシーンでロケ1日使うこともありますよ」それを笑顔で言えるなんて、プロだ…。結構時間割かれるみたいだけど、学校生活と両立できますか？試験とか。

「あ、今日まで試験でした」

え!?!聞いていいかわからないけど、成績は…？

「勉強は高校に行ってから頑張ります。『中学生日記』は今しかできないことだから、こっちに集中したい」

「勉強も部活も大事だけど、『中学生日記』はいろいろな人がかかわってるから、自分だけ休めません」

ご家族はそのあたり心配してませんか？

「うちはずっと応援してくれているので」

「最初あまり関心がなかったけど、わたしが取り組んでいるのを見て、理解してくれているみたいです」しっかりした考えを持って頑張っているから、ご家族も安心できるんでしょうね。お友だちの反応はどうですか。

「仲のいい子には話しましたが、役柄とちょっと性格が違うので、不思議な感じと言われました」

「台本を学校で読んで、出るのがばれたことがあります」

そのばれ方、ちょっとカッコいい！役者らしいというか。将来の

夢はやっぱり俳優ですか？

「はい」

「『中学生日記』に出演して俳優に興味が出ました」

「わたしは、むしろ裏方に興味があります」

「僕は歌舞伎役者で」

おお、渋い！

「IT関係です」

「農学部とかで研究したいです」

あれ、違う方面を目指す人もいるんですね。

「『中学生日記』に出たことで大人と話したり、人前で話したりできるようになりました。この経験はどんな仕事についても生かせると思います」

「中学生日記」効果ですね。他に出演してよかったと思うことはありますか？

「現場で友達がたくさんできました！」

すぐく仲よさそうだけど、前からの友達じゃないんだ。



男子は奥でふざけてる？
いえ、役作りですよ！

「同じ回に出るのも今回が初めてです。でも、何回かリハーサルをする間に仲良くなりました」

「共演した子と遊びに行くこともありますよ」

う～ん、楽しそう！では、これからも楽しい番組を期待しています。ありがとうございました。

「実は人見知り」と言いながらみなさん落ち着いた話しぶりで、お話にもあった「中学生日記」出演効果がうかがえました。以上、現場からお伝えしました！

♪NHK「中学生日記」♪

放送：毎週金曜 午後7時25分～7時55分<Eテレ>

再放送：毎週土曜 午前9時30分～10時00分<総合テレビ>

出演：風間俊介(神R先生)、森田彩華(瑞穂先生)ほか



New Arrivals

新しくはいた本



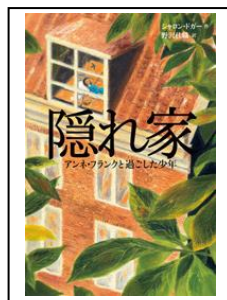
『アスリートたちの英語トレーニング術』

岡田圭子/著 岩波書店

海外でも活躍する日本人スポーツ選手たちはどうやって英語を身に付けたのかを、当人へのインタビューで探る。トップ選手が努力しているのは競技の練習だけじゃないんです。普通の英語の参考書には書いていない学習法は、普段の勉強にも役に立つかも (mt)

『隠れ家 アンネ・フランクと過ごした少年』

シャロン・ドガー/作 岩崎書店



「ユダヤ人である」というだけで、神は愛情を、ナチスは憎しみを向けた。その方向が違うだけで、どちらも同じことじゃないか？ レッテルにとらわれず、ただ自分という人間でありたいと願う少年は語る。隠れ家の日々を。そして、収容所を。(夜)

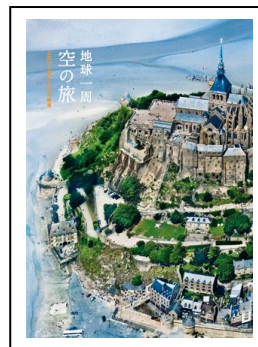


『ほまれ』 澤穂希/著 河出書房新社

なでしこジャパン ワールドカップ優勝!!
澤穂希(ほまれ)さんがサッカーを始めたきっかけは...それは6歳のとき。兄が通うサッカースクールを見学中に、コーチの勧めでボールを蹴ることになり、初めて蹴ったボールはコロコロころがり見事にゴール!!(む)

『マンガスチンの恋人』 遠野りりこ/著 小学館

雌だけで繁殖できる単為生殖のマンガスチン、性転換するテンナンショウ属...自然界の性は本来多様。
ままならない思いをかかえた高校生たちを、そんな植物になぞらえて描いた4話。(弓)



『地球一周空の旅 上空から眺める5つの絶景』

PPS通信社/写真 パイインターナショナル

疲れたアタマを解放してくれそうな、世界各地の圧倒的なながめ。個人的には元陽の棚田(中国)やウユニ塩地(ボリビア)がお気に入り。とても行けないけど、せめてPCの壁紙にした。(生)

『最果ての少年 熱砂の巨兵』 黒川裕子/著 中央公論新社

大竜巻によって外界から閉ざされている村・扶桑に住むカルスは、いつか言い伝えにある豊穡の島を探しに行くことを夢見ていた。カルスが15歳を迎える日の夜、黄金色の砂が村を襲い、それと同時にやってきた兵士たちが、次々と家を焼き払っていった。復讐の思いを胸に外界へと飛び出した少年の冒険譚。(忍)



『ヒット商品研究所へようこそ!』 ころやまのりお/著 講談社

みんな知ってる「かりかり君」、足が速くなる不思議な靴「瞬足」、かくれたベストセラーの宝庫「青い鳥文庫」。ヒット商品の裏側には、「仕事」の概念をくつがえす、楽しそうな大人たちの姿がありました。(弓)

